“歴史の足跡が残るまち” 御嵩町を巡ろう

のどかな田園風景が広がる岐阜県可児郡御嵩町。今も随所に歴史の足跡が残るまち。その御嵩町にある中山道宿場町の「御嶽宿」は、古くは中世からの名刹である願興寺の門前町として栄え、中山道の宿場となってからは、細久手、大湫へと続く難所をひかえ、大いに賑わいを見せました。

アクセス ： 《電　車》 名鉄広見線「御嵩駅」下車
《自動車》 東海環状自動車道「可児御嵩インター」→国道２１号線（約５分）

御嶽宿さんさん広場

環境に優しい低炭素の町を目指す御嵩町のシンボル。施設の電力は全てソーラーパネルで供給されています。セラミックボールで足を温める「足癒」は、心と体を癒してくれます。

大寺山願興寺

蟹薬師とも呼ばれ、開創は平安時代といわれる伝統ある名刹。兵火により焼失しましたが、約 400 年前に再建されました。本尊の薬師如来坐像をはじめ数多くの国の重要文化財、指定文化財があります。

御嶽宿わいわい館

御嵩町の「おもてなし」の拠点施設として、気軽に立ち寄り、交流できる場として親しまれています。

御嶽宿本陣

江戸時代の大名や公家等が宿泊、休憩する施設として利用された御嶽宿本陣。当時の面影を残した立派な門構えとともに宿場町の名残りを今日に伝えています。

中山道みたけ館

御嵩町に関する資料を豊富にそろえた郷土館と図書館の複合施設。和泉式部伝説、宿場町の隆盛、キリシタン信仰など御嵩町の歴史と文化に触れることができます。

商家竹屋

往時からの豪商として、宿場内での役割を担った商家竹屋。その佇まいは、商家に相応しい風格のある造りで、江戸時代の建築様式を色濃く残しています。

発行：
地域の元気を応援します
とうしん地域活力研究所